

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 岩谷産業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8088 URL <https://www.iwatani.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 間島 寛
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松尾 哲夫 (TEL) 06-7637-3325
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	201,909	△0.9	8,512	△3.6	10,614	△6.3	7,172	△12.3
2023年3月期第1四半期	203,803	40.1	8,828	12.7	11,330	21.5	8,180	36.0

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 15,445百万円(28.4%) 2023年3月期第1四半期 12,031百万円(103.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	124.69	—
2023年3月期第1四半期	142.23	—

(注) 2023年3月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、
 2023年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	654,672	321,919	47.6
2023年3月期	656,003	312,230	46.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 311,592百万円 2023年3月期 301,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	95.00	95.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	95.00	95.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	907,000	0.1	45,000	12.4	50,300	7.0	33,500	4.6	582.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	58,561,649株	2023年3月期	58,561,649株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,037,664株	2023年3月期	1,037,177株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	57,524,159株	2023年3月期1Q	57,515,964株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(企業結合等関係)	9
3. 補足情報	10
2024年3月期第1四半期実績(連結)	10
(1) 損益計算書	10
(2) LPガス輸入価格変動要因(市況要因)を除いた営業利益	10
(3) LPガス輸入価格の推移	10
(4) セグメント情報	10
(5) LPガス・産業ガス売上高・売上数量	11
(6) 財政状態	11
(7) 投資の状況	11
(8) (参考) 個別業績の概要	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、物価上昇や海外景気の先行きに不透明感があるものの、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う社会経済活動の活性化により、個人消費や企業収益が持ち直すなど、緩やかに回復しました。

このような状況のもと、当社グループは2024年3月期を初年度とする5カ年に亘る中期経営計画「PLAN27」を発表し、基本方針である「社会課題解決」と「持続的成長」に向けた事業拡大に取り組みました。

水素エネルギー社会の実現に向けては、豪州の褐炭を活用したCO₂フリー水素サプライチェーン構築を推進するとともに、豪州クイーンズランド州における再生可能エネルギー由来のグリーン水素を大規模製造するプロジェクトについて、基本設計作業を開始しました。また、発電等の大量需要への大容量水素供給システムの実現に向け、三菱重工業株式会社との液化水素昇圧ポンプの開発・販売の覚書や、住友精密工業株式会社との大型液化水素気化器の共同開発契約を締結するなど、他社との連携を進めました。

総合エネルギー事業では、関東・首都圏エリアでのLPガス供給体制の強化および合理化の一環として、根岸液化ガスターミナルにおいてシリンダー充填所の建設に着手しました。また、一般家庭等への高効率ガス給湯器導入により得られるCO₂削減効果を国のJ-クレジット制度の認証を受けて環境価値化に取り組むとともに、北九州水素タウンにおいて水素100%燃焼給湯器の実証試験に着手し、家庭での低・脱炭素化を推進しました。

産業ガス・機械事業では、中国・華東地域の旺盛な需要を捉え、水素工場に加えて、更なる事業拡大を目的にエアセパレートガス製造設備の拡張を図りました。

マテリアル事業では、タイの金属加工事業において、空調機器の需要増加を受け、着実に製造・販売を拡大しました。

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,019億9百万円（前年同期比18億94百万円の減収）、営業利益85億12百万円（同3億15百万円の減益）、経常利益106億14百万円（同7億15百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益71億72百万円（同10億7百万円の減益）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、事業セグメントの区分方法の変更を行っており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

【総合エネルギー事業】

総合エネルギー事業は、LPガス輸入価格の下落や気温高の影響等により減収となりました。利益面においては、LPガス小売部門の収益性は改善したものの、市況要因が前年同期比で37億73百万円の減益と大幅なマイナスになりました。

この結果、当事業分野の売上高は769億61百万円（前年同期比145億51百万円の減収）、営業利益は16億円（同36億62百万円の減益）となりました。

【産業ガス・機械事業】

産業ガス・機械事業は、エアセパレートガス及び水素ガスについては、半導体、電子部品業界向けを中心に販売数量が減少しましたが、製造コスト増加への対応に努めたことにより収益性は改善しました。また、水素関連設備の販売が堅調に推移しました。特殊ガスについては、ヘリウムが世界的な需給ひっ迫により市況が上昇する中、安定供給に努めました。機械設備は、自動車関連向け設備やガス供給設備の販売が伸長しました。

この結果、当事業分野の売上高は621億83百万円（前年同期比137億71百万円の増収）、営業利益は48億99百万円（同34億22百万円の増益）となりました。

【マテリアル事業】

マテリアル事業は、ミネラルサンドや次世代自動車向け二次電池材料は、販売先での在庫調整の影響等により、販売数量が減少しました。一方で、バイオマス燃料や飲料ボトル向けPET樹脂の販売が伸長したことに加え、輸入ステンレスやエアコン向けを中心とする金属加工品の販売も堅調に推移しました。

この結果、当事業分野の売上高は553億20百万円（前年同期比9億63百万円の減収）、営業利益は27億69百万円（同54百万円の増益）となりました。

【その他】

売上高は74億43百万円（前年同期比1億50百万円の減収）、営業利益は6億10百万円（同2億90百万円の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①総資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ13億31百万円減少の6,546億72百万円となりました。これは、投資有価証券が92億23百万円、商品及び製品が80億81百万円、デリバティブ資産等の流動資産「その他」が37億2百万円、原材料及び貯蔵品が13億17百万円それぞれ増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が232億56百万円減少したこと等によるものです。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ110億20百万円減少の3,327億52百万円となりました。これは、繰延税金負債等の固定負債「その他」が41億7百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が96億69百万円、未払法人税等が48億29百万円、賞与引当金が23億59百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

なお、当第1四半期連結会計期間末のリース債務等を含めた有利子負債額は、前連結会計年度末と比べ1億59百万円増加の1,396億13百万円となりました。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ96億89百万円増加の3,219億19百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が64億84百万円、利益剰余金が17億2百万円、繰延ヘッジ損益が13億66百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、景気動向やLPガス輸入価格の変動等が業績に影響を与える可能性があります。当第1四半期連結累計期間においては、2023年5月15日発表の業績予想を変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	33,730	29,502
受取手形、売掛金及び契約資産	150,389	127,132
電子記録債権	23,903	24,976
商品及び製品	55,751	63,832
仕掛品	6,106	7,258
原材料及び貯蔵品	7,753	9,071
その他	25,732	29,435
貸倒引当金	△177	△180
流動資産合計	303,189	291,028
固定資産		
有形固定資産		
土地	73,910	72,981
その他(純額)	133,532	135,665
有形固定資産合計	207,442	208,647
無形固定資産		
のれん	23,958	23,379
その他	12,909	13,285
無形固定資産合計	36,868	36,665
投資その他の資産		
投資有価証券	85,689	94,913
その他	23,325	23,942
貸倒引当金	△512	△525
投資その他の資産合計	108,502	118,331
固定資産合計	352,814	363,643
資産合計	656,003	654,672

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,071	63,401
電子記録債務	40,801	39,825
短期借入金	25,747	26,357
未払法人税等	8,362	3,533
契約負債	10,500	12,121
賞与引当金	6,434	4,074
その他	47,551	48,581
流動負債合計	212,469	197,897
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	68,457	67,884
役員退職慰労引当金	1,280	1,255
退職給付に係る負債	6,892	6,934
その他	24,673	28,780
固定負債合計	131,303	134,854
負債合計	343,773	332,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,096	35,096
資本剰余金	31,904	31,904
利益剰余金	203,801	205,503
自己株式	△1,530	△1,533
株主資本合計	269,271	270,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,148	30,632
繰延ヘッジ損益	2,730	4,097
為替換算調整勘定	5,764	5,847
退職給付に係る調整累計額	61	42
その他の包括利益累計額合計	32,704	40,620
非支配株主持分	10,254	10,327
純資産合計	312,230	321,919
負債純資産合計	656,003	654,672

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	203,803	201,909
売上原価	153,254	150,258
売上総利益	50,549	51,651
販売費及び一般管理費		
運搬費	7,344	7,131
貸倒引当金繰入額	0	19
給料手当及び賞与	9,985	10,497
賞与引当金繰入額	2,722	2,900
退職給付費用	515	440
役員退職慰労引当金繰入額	34	37
その他	21,117	22,112
販売費及び一般管理費合計	41,721	43,138
営業利益	8,828	8,512
営業外収益		
受取利息	86	130
受取配当金	613	628
為替差益	291	125
持分法による投資利益	515	469
補助金収入	428	469
その他	946	798
営業外収益合計	2,881	2,622
営業外費用		
支払利息	229	414
その他	149	105
営業外費用合計	379	520
経常利益	11,330	10,614
特別利益		
固定資産売却益	47	950
固定資産受贈益	—	49
投資有価証券売却益	144	0
負ののれん発生益	465	—
補助金収入	2	0
特別利益合計	659	1,000
特別損失		
固定資産売却損	3	312
固定資産除却損	67	94
投資有価証券売却損	—	0
投資有価証券評価損	—	1
固定資産圧縮損	2	43
特別損失合計	73	451
税金等調整前四半期純利益	11,916	11,163
法人税等	3,419	3,719
四半期純利益	8,497	7,443
非支配株主に帰属する四半期純利益	316	271
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,180	7,172

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	8,497	7,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△718	6,420
繰延ヘッジ損益	1,240	1,369
為替換算調整勘定	3,066	52
退職給付に係る調整額	△152	△15
持分法適用会社に対する持分相当額	99	174
その他の包括利益合計	3,534	8,001
四半期包括利益	12,031	15,445
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,598	15,089
非支配株主に係る四半期包括利益	432	356

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合 エネルギー 事業	産業ガス・ 機械事業	マテリアル 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,513	48,411	56,284	196,209	7,594	203,803	—	203,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,077	649	483	2,210	6,155	8,366	△8,366	—
計	92,591	49,061	56,767	198,419	13,750	212,170	△8,366	203,803
セグメント利益 又は損失(△)	5,263	1,477	2,715	9,455	319	9,775	△947	8,828

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品、畜産、金融、保険、運送、情報処理等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間の数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業ガス・機械事業」セグメントにおいて、トキコシステムソリューションズ株式会社の全株式を取得し、連結子会社といたしました。当該事象によるのれんの増加額は、前第1四半期連結累計期間においては9,424百万円であります。なお、のれんの金額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映されております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	総合 エネルギー 事業	産業ガス・ 機械事業	マテリアル 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	76,961	62,183	55,320	194,465	7,443	201,909	—	201,909
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,097	1,471	408	2,976	6,265	9,242	△9,242	—
計	78,058	63,654	55,729	197,442	13,709	211,151	△9,242	201,909
セグメント利益 又は損失(△)	1,600	4,899	2,769	9,269	610	9,880	△1,367	8,512

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品、畜産、金融、保険、運送、情報処理等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引消去額が含まれております。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「総合エネルギー事業」「産業ガス・機械事業」「マテリアル事業」「自然産業事業」の4区分から、「総合エネルギー事業」「産業ガス・機械事業」「マテリアル事業」の3区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2022年4月1日に行われたトキコシステムソリューションズ株式会社との企業結合及び2022年6月1日に行われた東京ガスエネルギー株式会社(現・株式会社エネライフ)との企業結合について、前第1四半期連結累計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、前連結会計年度に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、販売費及び一般管理費が85百万円増加したことにより、営業利益及び経常利益がそれぞれ85百万円減少し、負ののれん発生益を465百万円計上したことにより、税金等調整前四半期純利益が380百万円増加し、法人税等が56百万円減少し、四半期純利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益がそれぞれ436百万円増加しております。

3. 補足情報

2024年3月期第1四半期 実績 (連結)

2023年3月期連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(1)【損益計算書】

(億円未満切捨て)

(単位:億円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率	通期業績予想	決算の概況
売上高	2,038	2,019	△ 18	△ 0.9%	9,070	売上高は、工業分野向け商品の販売が堅調に推移するも、LPガス輸入価格の下落により減収 利益面についてはLPガス市況要因が大幅なマイナス(前年同期比△37億円)となり、減益
売上総利益	505	516	11	2.2%	—	
営業利益	88	85	△ 3	△ 3.6%	450	
経常利益	113	106	△ 7	△ 6.3%	503	
親会社株主に帰属する四半期純利益	81	71	△ 10	△ 12.3%	335	

※通期業績予想は、2023年5月15日に公表した数値を表示しております。

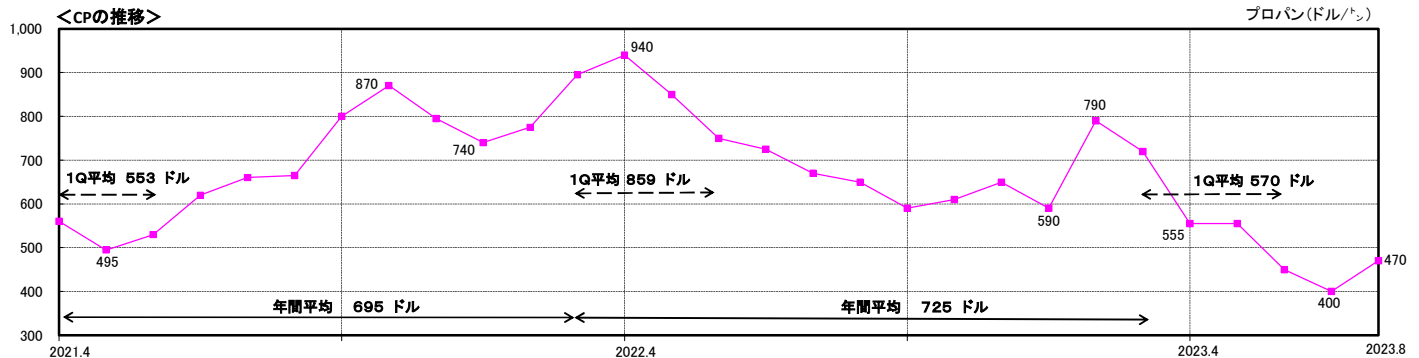
(2)【LPガス輸入価格変動要因(市況要因)を除いた営業利益】

(単位:億円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率	通期業績予想	営業利益の概況
営業利益	88	85	△ 3	△ 3.6%	450	・LPガス輸入価格の下落により、17億円の減益要因が発生(前年同期比△37億円) ・市況要因を除く営業利益は102億円となり過去最高の利益水準となる
市況要因	20	△ 17	△ 37	—	—	
市況要因を除く営業利益	67	102	34	50.9%	450	

※LPガスの輸入から販売までの期間は比較的長期であることから、LPガス輸入価格の急激な変動により輸入価格が上昇局面の場合は輸入価格の安いLPガス在庫を高い卸売価格で販売することにより増益要因となる一方、下落局面の場合は輸入価格の高いLPガス在庫を安い卸売価格で販売することにより減益要因となり、短期的に当社グループの業績に影響を及ぼす原因となるため、市況要因を除く営業利益を記載しております。

(3)【LPガス輸入価格の推移】



(4)【セグメント情報】

(単位:億円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率	セグメントの概況	
総合エネルギー事業	売上高	915	769	△ 145	△ 15.9%	・LPガスの輸入価格下落及び気温高の影響等により減収 ・LPガスの市況要因がマイナス
	営業利益	52	16	△ 36	△ 69.6%	
産業ガス・機械事業	売上高	484	621	137	28.4%	・エアセパレートガス及び水素ガスは販売数量が減少する中、製造コスト増加へ対応 ・水素関連設備の販売は堅調に推移 ・ヘリウムは安定供給に注力 ・機械設備は、自動車関連向け設備やガス供給設備の販売が伸長
	営業利益	14	48	34	231.7%	
マテリアル事業	売上高	562	553	△ 9	△ 1.7%	・ミネラルサンドや次世代自動車向け二次電池材料は販売数量減少 ・バイオマス燃料や飲料ボトル向けPET樹脂の販売が伸長 ・輸入ステンレスやエアコン向けを中心とする金属加工品の販売も堅調に推移
	営業利益	27	27	0	2.0%	
その他	売上高	75	74	△ 1	△ 2.0%	
	営業利益	△ 6	△ 7	△ 1	—	

※「売上高」は、外部顧客への売上高を表示しております。

※「その他」は、「その他」の事業セグメントと「調整額」の合計を表示しております。

※当第1四半期連結会計期間より、会社組織の変更に伴い、事業セグメントの区分方法の変更を行っております。

なお、前第1四半期のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成した上、増減比較しております。

(5)【LPガス・産業ガス売上高・売上数量】

	売上数量 (単位:千トン)				売上高 (単位:億円)			
	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
国内民生用	290	275	△ 15	△ 5.3%	489	397	△ 91	△ 18.7%
国内工業用	101	73	△ 28	△ 27.9%	130	75	△ 54	△ 42.1%
LPガス(国内計)	392	348	△ 43	△ 11.1%	620	473	△ 146	△ 23.7%
LPガス合計	396	351	△ 44	△ 11.2%	624	477	△ 147	△ 23.6%
各種産業ガス	—	—	—	—	288	367	79	27.6%

(6)【財政状態】

(単位:億円)

	前期末	当第1四半期末	前期末比
総資産	6,560	6,546	△ 13
自己資本	3,019	3,115	96
有利子負債	1,394	1,396	1
ネット有利子負債	1,057	1,101	43
自己資本比率	46.0%	47.6%	1.6pt
有利子負債依存度	21.2%	21.3%	0.1pt
D/Eレシオ	0.46倍	0.44倍	△ 0.02pt
ネットD/Eレシオ	0.35倍	0.35倍	—

(7)【投資の状況】

<セグメント別>

(単位:億円)

	当第1四半期	年間計画
総合エネルギー事業	27	131
産業ガス・機械事業	34	313
マテリアル事業	17	55
その他	14	221
投資額	93	720
減価償却費	63	278

※有形固定資産・無形固定資産(のれん含む)・投資有価証券等を表示しております。
 (内、当期の有形固定資産の投資額は71億円)
 ※「その他」は、「その他」の事業セグメントと「調整額」の合計を表示しております。

(8) (参考)【個別業績の概要】

(損益計算書)

(単位:億円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	1,322	1,203	△ 118	△ 9.0%
営業利益	41	16	△ 25	△ 60.7%
経常利益	101	90	△ 10	△ 10.4%
四半期純利益	83	78	△ 4	△ 5.0%

(財政状態)

(単位:億円)

	前期末	当第1四半期末	前期末比
総資産	4,403	4,443	39
自己資本	2,082	2,181	99
自己資本比率	47.3%	49.1%	1.8pt